

独立行政法人国際交流基金 契約監視委員会（平成22年度第1回）

議事要旨

- 1 日時：平成22年7月23日（金）10：00-12：00
- 2 場所：独立行政法人国際交流基金 スペースけやき（2階）
- 3 出席者：
 - （1）委員（五十音順・敬称略）
碓井光明委員長、三宅能生委員、宮本和之委員、鷺尾悦也委員
 - （2）外務省
徳永久志外務大臣政務官、赤堀毅文化交流課長
 - （3）国際交流基金
小倉和夫理事長、坂戸勝理事、下山雅也経理部次長、深野昭会計課長、抽出案件担当者
- 4 主要議事：
 - （1）外務省独立行政法人評価委員会コンプライアンス部会（報告）
 - （2）総務省行政管理局からの要請（報告）
 - （3）個別案件の審議
- 5 主要議事概要：
 - （1）外務省独立行政法人評価委員会コンプライアンス部会（報告）
コンプライアンス部会の設置目的、契約監視委員会による平成20、21年度契約の点検結果等に関する同部会への報告等について事務局より説明した。
 - （2）総務省行政管理局からの要請（報告）
要請の概要並びにその中で契約監視委員会への報告を求められている事項について説明・報告を行った後、委員より以下の意見があり、今後の委員会において報告を行う旨、事務局より回答した。
 - ・ 毎回の委員会の場で、再委託が行われた案件があるかどうか、また、該当がある場合には、その概要を報告いただきたい。

(3) 個別案件毎の指摘事項

イ. 平成22年度JENESYS若手日本語教師派遣業務委託契約

委員：プロポーザル参加者がどの点をアピールすべきか分かるよう、企画競争等における評価基準を公表すべきである。

基金：本件の入札は契約監視委員会の発足以前であったため評価基準の公表は行っていなかったが、現在では過去の委員会における同様の指摘を受け、入札公告等において、評価基準を可視化するよう努めている。

ロ. 平成22年度海外事務所等用新聞・雑誌購送業務委託契約

委員：予定価格について、より現実の事務作業等に即した算定基礎を用いる必要があるように思われる。

基金：より現実に即した予定価格の算定が可能となるよう、方法を検討する。

ハ. 海外4都市の都市模型制作業務委託契約

委員：随意契約によらざるを得ない契約であると考え、価格の妥当性はどのように検証しているのか。

基金：基金の文化交流事業の趣旨を説明の上、なるべく廉価な価格で契約できるよう業者と交渉を行った。また、監修者を通して、建築家や模型作成業者に価格が妥当であることを確認した。

委員：例えば監修者から書面を取り付けるなどして、契約金額が妥当であることを検証した証を残すべきと考える。

ニ. 日本語試験センター施設賃借契約

委員：賃借料は市価に比してどの程度廉価なのか。

基金：入居時に近隣物件の価格との比較を行い廉価である点を確認している（近隣物件の価格との比較表を示しつつ回答）。

ホ. 2010年6月海外模擬試験（香港）実施業務委託契約

委員：共催相手の選定が適正に行われていれば、問題ないと考える。

基金：共催相手については公的団体若しくはこれに準ずる信頼ある団体を選定している。

ヘ. 平成22年度東アジア研修接遇業務委託契約

委員：総合評価方式によって契約相手方を選定しているが、評価が書面審査のみでなされているのであれば、必ずしも業務遂行能力が把握でき

ない恐れがあるのではないか。

基金：本入札では書面による評価を実施したが、入札実施にあたっては、可能な限りプレゼンテーションも評価に反映するよう留意している。

6 その他（主なもの）：

委員より、「企画競争による案件については、評価基準等に関する資料を添付すべきである」との指摘が行われた。

7 事務局より「次回委員会の開催は10月上旬頃を予定している」旨の事務連絡があった。

以上